

光デジタルヘッドホンアンプ

denAMP/HPhone

取扱説明書



株式会社 傳田聴覚システム研究所

●はじめに

このたびはデジタルヘッドホンアンプ「denAMP (デンアンプ) /HPhone」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。
本書は、本機器の導入ならびに使用方法を解説した取扱説明書です。
機器を正しくお使いいただくため、ご使用前に本書を必ずお読みください。

●ご注意

- ・ 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容につきましては、万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡をお願いします。
- ・ 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ・ 本製品の保証や修理に関しては、末尾保証書に記載されております。保証書は内容を必ずご確認ください。
- ・ SpActは、日本テキサス・インスツルメンツ社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 本製品および本製品付属のマニュアルに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または、登録商標です。
- ・ この「denAMP (デンアンプ) /HPhone取扱説明書」の著作権は、株式会社 傳田聴覚システム研究所ならびに株式会社Dr.Three (ドクター・スリー) に帰属します。
無断で改変および配布はなさいませんようお願い申し上げます。

●製品仕様

オーディオ部

ヘッドホン出力部	3.5Φステレオ・ミニジャック
	出力インピーダンス ラインアウト 10kΩ以上
	ヘッドホン 16Ω以上 (適正32Ω)

オーディオ入力部	S/PDIF (光角型)
	COAX (同軸)
	USB (デンダック機能付きのみ)

外寸 (突起物を含まない)	59×74×29 (mm)
---------------	---------------

PCM	ステレオ再生
-----	--------

有効ビット	24bit
-------	-------

サンプリングレート	192kHz/48kHz
-----------	--------------

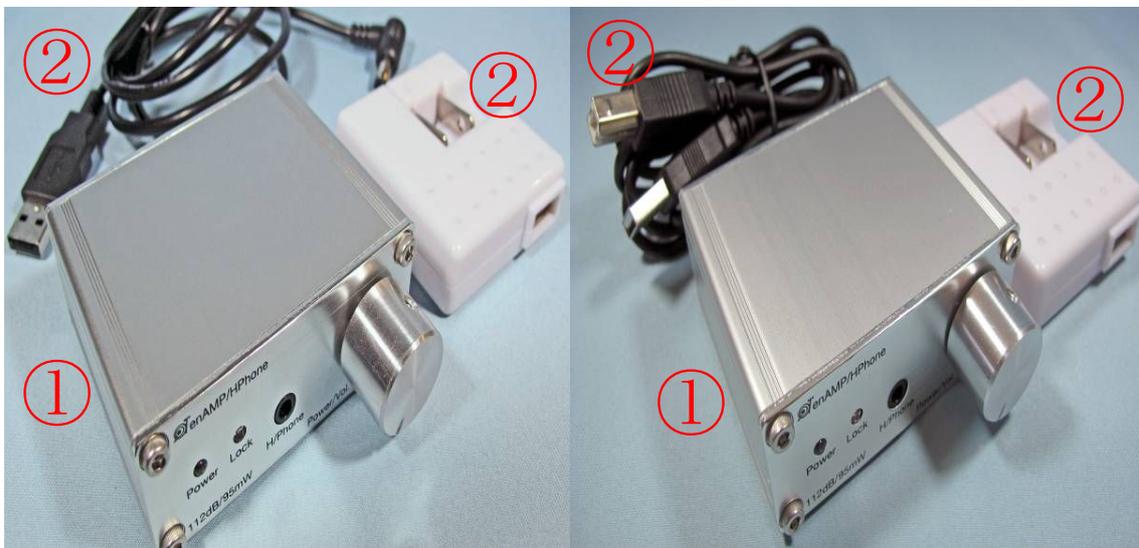
電源電圧・消費電流	5V 1A以下
-----------	---------

●添付品について

製品には万全を期しておりますが、付属品の欠品・欠損等ございましたら、直接弊社へご連絡ください。

標準タイプ

デンドック機能付き



- | | |
|-------------|---|
| ① 本体 | 1台(標準タイプとデンドック機能付きタイプがあります) |
| ② ACアダプター | AC/USB変換機ならびにアンプ接続用USBコード含む
(AC/USB変換機、接続用コードは、時期により形状や色が写真と異なる場合があります。) |
| ③ 取扱説明書(本誌) | 1枚 |

商品は、予告なく変更、改良する場合があります。ご了承下さい。

●安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、ご利用者様本人または他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

[警告の意味]

警告：絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示の注意事項を守らないと、使用者が負傷、または、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

[警告]

- 本体の分解や改造等は絶対に行わないでください。
- ボリュームは必要に応じて調整し、耳を痛める可能性もありますので、あまり大音量でお使いにならないでください。特に、ヘッドホンでのご利用には音量に十分注意してください。
- ポップ音（電源の入り切りの際の「プツッ」や「ブツッ」等の音）には十分ご注意ください。
- 煙が出る、変な臭いがする場合は、直ちに本製品の電源ケーブルコンセントから抜いてください。また、そのような場合には、必ず、販売店または、製造元までご連絡ください。
- 本製品が水やコーヒーなどで濡れた場合には、ショートによる火災や感電の恐れがありますので、使用しないでください。また、そのような場合には、必ず、販売店または、製造元までご連絡ください。
- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないようにしてください。

[注意]

- モータや古いスイッチなどノイズや電源瞬断を発生する機器の近くでは、誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命にかかわる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用により生じた、あらゆる事故（人身事故、火災事故など含む）も弊社では責任も負いかねます。
- 保管に関するご注意
本製品を保管する場合、故障の原因となりますので、次のような場所は避けてください。
 - ・直接日光の当たる場所や、異常に温度が高くなる場所、暖房機器等の近く
 - ・温度差の激しい場所、チリやほこり、湿度の多い場所、振動や衝撃の加わる場所
 - ・常に力のかかっている状態になる場所（CDプレーヤーの下を含む）

○データバックアップのお願い

本製品をパソコンでご利用になられる場合、事前にパソコン内のデータのバックアップをお勧めします。

本製品を取り付け、または取り付け後のパソコンの故障・トラブルや、データの消失・破損等、または取り扱いを誤ったために生じるトラブル等、保証致しかねます。

●製品の特徴

本製品は、背面に光デジタル端子、同軸デジタル端子を装備したデジタルヘッドホンアンプです。

本体はCD・DVD等のデジタル出力付き再生機器があればヘッドホン再生が可能です。



高品質、コンパクト設計です



市販CDはもちろんですが、伝聴研のトレーニングCDや自然音CDにご使用されますと余すことなく真価を発揮します。

写真のDVDプレーヤーは伝聴研推奨 (株)フィフティ製 DVD-D225を使用しています。

●各種名称

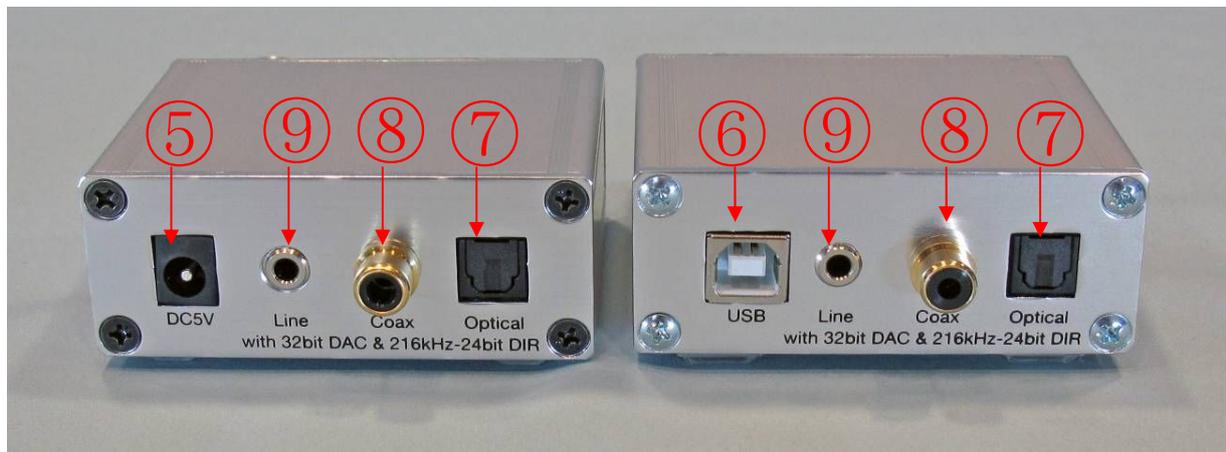
【前面】



【背面】

標準タイプ

デンドラック機能付き



① Power/Vol.

電源スイッチ／ボリューム

電源OFF時、右に回すと電源ON。さらに右に回すとボリュームが大きくなります。電源ON時、左に回すとボリュームが小さくなり、最後に電源OFFになります。ボリュームを最大にしても、音が小さいと感じる時は、再生装置のボリュームを上げて下さい。

② H/Phone

ヘッドホン端子

3.5インチミニジャックタイプのヘッドホンがご利用いただけます。

③ Powerランプ

電源ON時、光ります。

④ Lockランプ

電源ON時で背面にACコード以外の各コードを挿し込むと点灯します。

⑤ DC5V

ACアダプター端子(ベーシックタイプのみ)

⑥ USB

USBケーブル接続端子。(デンダック機能付きのみACのDC5Vも兼ねています。)

⑦ Optical

角型光入力端子

⑧ Coax

同軸デジタル入力端子

⑨ Line

アナログライン出力端子

使用する接続ケーブル



ビデオケーブル(75Ω)
伝聴研推奨です。
伝聴研で取り扱っています。

光ケーブル(角型)
お客様でご用意して下さい。

●接続方法

- ① オーディオ再生装置（CDプレーヤー・DVDプレーヤー等の再生装置）と本ヘッドホンアンプを用意します。
- ② オーディオ再生装置（CDプレーヤー・DVDプレーヤー等の再生装置）と本ヘッドホンアンプに、オーディオ線を接続します。

ケーブルを下記のいずれかで、ヘッドホンアンプに接続します。

同軸デジタル入力で接続する。ビデオケーブル(6 ページ図①)を挿し込みます。

光デジタル入力(角型)で接続する。光ケーブル(6 ページ図②)を挿し込みます。

※同軸デジタル入力の方が音質が良く伝聴研推奨です。

再生装置を同軸デジタルで接続する場合は、再生装置の取扱説明書に書かれている同軸デジタル音声出力部分にビデオケーブルを挿し込みます。

下図を参照して下さい。

(光デジタルでご使用される場合も再生装置の取扱説明書で確認して下さい。)



各再生装置のこの部分にビデオケーブルを挿し込みます。
出力設定が必要な場合があります。**PCM出力**にして下さい。

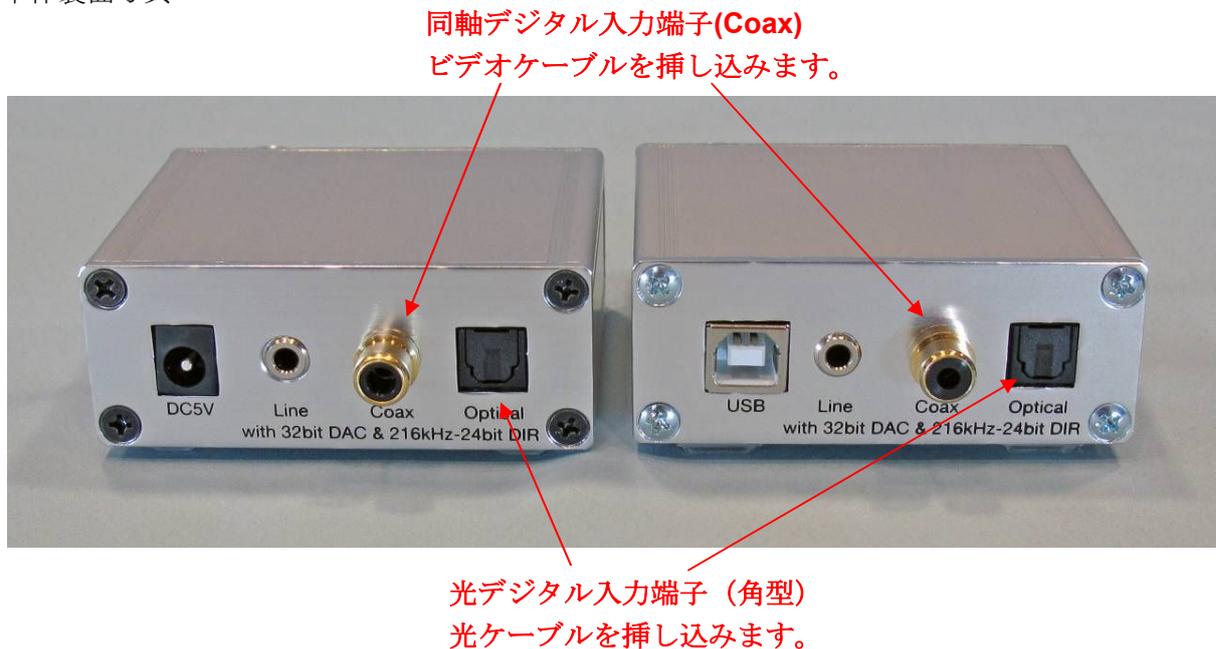


再生装置によっては、同軸端子の色がオレンジの場合があります。

※ご注意

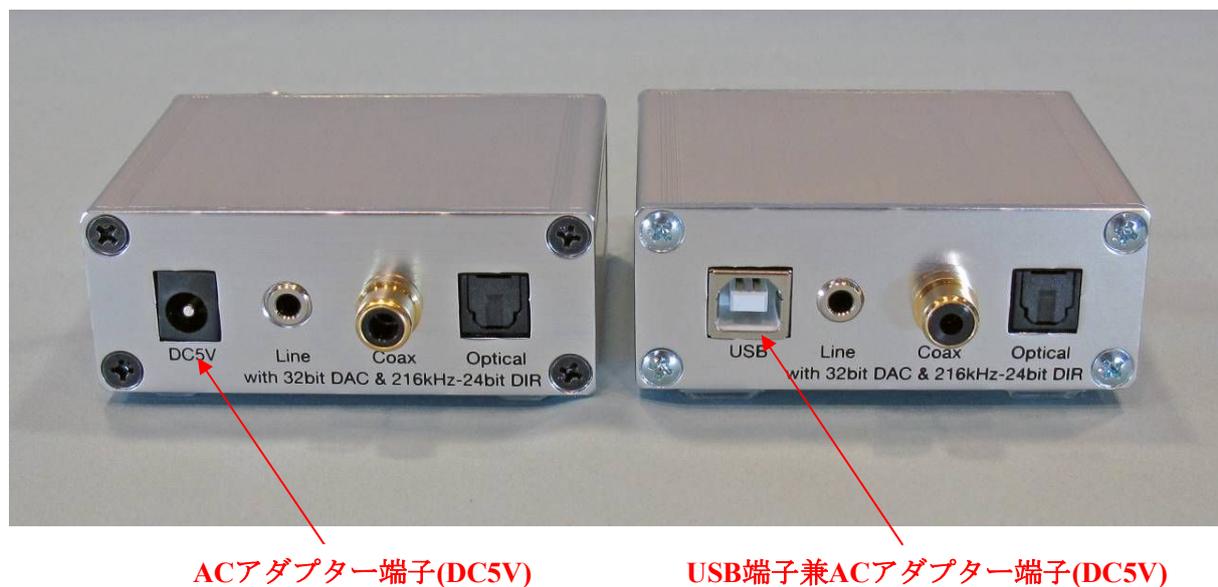
- ・よい音でお使いいただく為、光デジタルコードまたは同軸デジタルコードをご利用ください。
- ・同軸デジタルコードと光デジタルコードは両方接続しないでください。
- ・同軸デジタルコードと光デジタルコードを同時に接続しますと、音が出なくなります。故障の原因にもなりますのでお止め下さい。

<本体裏面写真>



- ③ ヘッドホンアンプにACアダプター(標準タイプ)及びUSBケーブル(デンダック機能付き)を挿し込み、再生装置も電源を入れます。(再生装置の電源の入れ方は付属の取扱説明書をお読み下さい。)

<本体裏面写真>



- ④ ヘッドホンアンプの電源を入れます。
ヘッドホンアンプのボリュームを少し回します。
「カチッ」という音と同時に、Powerランプが点灯します。
この状態が電源が入った状態となります。

ご注意

電源スイッチはヘッドホンボリューム一体型です。
本体には、単体スイッチはついておりません。

<本体表面写真>



電源スイッチ/
ボリュームつまみ

ボリュームを最大にしても、音が小さいと感じる時は、再生装置のボリュームを上げて下さい。

ヘッドホンを挿し込みます。

<本体表面写真>



ヘッドホン端子

ヘッドホンのミニジャックを挿し込みます。

- ⑥ 再生します。
再生装置の再生ボタンを押し、ボリュームつまみをまわし、お好みの音量でお聞きください。

ご注意

- ・再生装置の操作方法は再生装置本体の取扱説明書をご参照ください。
- ・耳を痛める可能性があります。ヘッドホンでお聞きになる際は、音量にお気をつけください。
- ・電源操作時は、ヘッドホンを外してください。
ポップ音等で耳を痛める可能性があります。
- ・安全のため、ご利用になられない時は本体電源を必ずお切りください。

DVDプレーヤーを使用した時の配線図(ビデオケーブル使用時)

標準タイプ



デンドック機能付き

同軸デジタル音声出力端子に
接続します。

同軸デジタル入力端子(Coax)に
接続します。



写真のDVDプレーヤーは伝聴研推奨 ㈱フィフティ製 DVD-D225を使用しています。

パソコンを使用した時の配線図(USBケーブルを使用します)
デンドック機能付きのみ



USB端子に接続します。

**USB端子に接続します。
ACアダプターも兼用します。**

ヘッドホンアンプをパソコンに接続すると、自動認識して使えるようになります。
まれに、自動認識されない場合があります。その時は、ヘッドホンアンプの電源を切り再度配線して頂くか、12ページ、13ページの設定方法をお読み下さい。
分からない時は、伝聴研までご連絡を下さい。

※初めてヘッドホンアンプをパソコンに接続した場合、自動認識に時間(約1分ぐらい)が掛かる場合があります。次回の接続からは、自動認識が早くなります。

※お手持ちの再生装置や伝聴研からご購入頂いた、DVDプレーヤーの故障や不具合は、直接メーカーへお問い合わせ下さい。

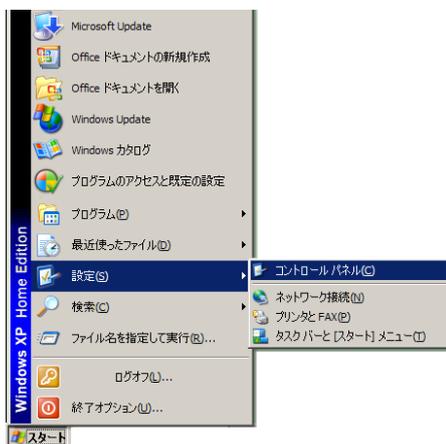
デンダック機能付きをご購入されたお客様のみお読み下さい。

→パソコンを使用して音が出ない場合

お客様のご利用のパソコンの環境により、まれにオーディオ出力が切り替わらない場合があります。

「コントロールパネル」 - 「サウンドとオーディオデバイス」
- 「オーディオ タブ」 - 「音の再生 (規定のデバイス)」

- 1, 左下の「スタート」より、「コントロールパネル」を選択します。
クラシックモードの場合は、左下の「スタート」より、「設定」、「コントロールパネル」を選択
※お客様のお使いの設定により、異なります。



クラシックモード時のスタートメニューの様子

※お使いのパソコン環境により、表示が一部異なる場合があります。

- 2, 「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。そして、「サウンドとオーディオデバイス」をダブルクリックします。
クラシックモードの場合、「サウンドとオーディオデバイス」をダブルクリックします。



「コントロールパネル」より、上記アイコンをダブルクリックします。
※お使いのパソコン環境により、表示が一部異なる場合があります。

- 3, 「サウンドとオーディオプロパティ」が開くはずですが、この中の「オーディオ」というタブをクリックします。



「オーディオ」タブを選択

「サウンドとオーディオプロパティ」 写真

※お使いのパソコン環境により、表示が一部異なる場合があります。

- 4, 「音の再生」項目の「既存のデバイス」の項目が「USB Audio DAC」になっている事を確認ください。別デバイスが表示されていた場合、「既存のデバイス」欄の「▼」で、「USB Audio DAC」を選択します。



正常に認識されている場合、
「音の再生」 - 「規定のデバイス」
に、「USB Audio DAC」が表示されます。

「サウンドとオーディオプロパティ」 写真

※お使いのパソコン環境により、表示が一部異なる場合があります。

以上で設定は完了となります。

●製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問・故障に関するご相談、また各種サポートは、下記までお問い合わせください。

また、ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となります。また、ご質問の内容によりましては、お時間がかかる場合もございますので、予めご了承ください。

・FAXの場合（24時間受付）

最終ページの「サポート用紙」に必要事項をご記入の上、下記FAXまでお送りください。後日、折り返しご連絡いたします。

・E-MAILの場合（24時間受付）

最終ページの「サポート用紙」を参考に入力し、弊社に送信ください。また、故障等のご質問の場合、画像添付も承っております。後日、折り返しご連絡いたします。

・お電話の場合（平日 10:00～17:00）

電話でのご質問の場合、弊社サポート受付時間内にお願ひします。また、回線の都合上電話がつながりにくい事もあります。

株式会社 傳田聴覚システム研究所

〒222-0013

神奈川県横浜市港北区錦が丘11-17

TEL 045-439-5955

FAX 045-439-5956

info@denchoh.com

●改版履歴

版数	日付		記載者	内容
0.1	2013/04/05		伝聴研	初版

- ・本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- ・本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。
- ・本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどありましたら、お買い求めになった販売店または弊社にご連絡ください。
- ・本製品は一般的なオフィス製品や家庭のOA機器としてお使いいただく事を想定しております。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 1)医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - 2)一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- ・本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートは行っておりません。
- ・本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取り扱い方法に違反する使用はおやめください。
- ・弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理保証しますが、記憶されたデータが消失・破損（ハードディスクのクラッシュ等も含む）した場合について、一切保証いたしません。
- ・保証期間内の故障の場合で、販売店名に販売店様が保証書にご購入日の記入がない場合、お客様のご購入日を確認できる書類（レシート・代引きの場合は代引き領収書など）を添付していただく必要があります。
- ・その他の保証等規約につきましては、「保障契約約款」をお読みください。

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

また、製品本体の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証の際は、保証書と販売証明書を提示していただきますので、大切に保管ください。

第1条（定義）

- 1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
- 2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を動作させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
- 3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
- 4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
- 5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
- 6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）

- 1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
- 2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
- 3 ご提示頂いた保証書が、製品名および重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
- 4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）が添付されていない場合。
- 5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
- 6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
- 7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
- 8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
- 9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条（修理）

この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。

- 1 修理のご依頼時には製品を弊社サポート宛にご送付ください。弊社送付先等につきましては各製品添付のマニュアル（電子マニュアルを含みます）またはパッケージをご確認ください。尚、送料はお客様負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は記録が残る形での発送をお願いします。
- 2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
- 3 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させていただきます。
- 4 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させていただきますが、修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。
- 5 保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換の場合、修理をご依頼された現品はお返しすることができません。弊社にて適切処分させていただきます。

第4条（免責事項）

- 1 お客様ご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
- 2 お客様ご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補または瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
- 3 弊社における保証は、お客様ご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条（有効範囲）

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

●**レシート・販売確認書類貼り付けのお願い**

無償修理を受けようとする際、本説明書販売店欄に、押し印（日付・販売店名なきもの、または見えづらいもの無効）がない、または無効の場合、購入店名・日付・購入物品等がわかる書類（レシート・領収書・代引きお客様控えや、購入を証明できる書類等でも可）を提示していただく必要があります。

その場合、ここに購入店名・日付・購入物品等がわかる書類（レシート等）をお貼りになり、本説明書と共に大切に保管ください。

レシート・販売確認書類貼り付け欄

MEMO (お客様の記録欄としてご利用ください)

=== denAMP/HPPhoneサポート用紙 ===

日付と下欄のご記入をお願いします。

(日付： 年 月 日)

ふりがな	
氏名	
住所	〒
電話	
FAX	
Eメール	@
利用環境等	
返信方法	(電話 ・ FAX ・ E-MAIL) サポートの返信のご希望連絡方法に○をつけてください。
質問内容	

販売店名 (日付・販売店名なきもの無効)	販売元
保障期間 購入日より1年間	<p>●お問い合わせは、電話・FAX・E-MAILで承ります</p> <p>株式会社 傳田聴覚システム研究所 〒222-0013 神奈川県横浜市港北区錦が丘11-17 TEL 045-439-5955 FAX 045-439-5956 E-MAIL info@denchoh.com ホームページ http://www.denchoh.com</p> 